地球をまもる

ＡＬ菌
エコ･クリーンシステム

「ゴミ処理」の現状

現在、生ごみ処理は焼却や埋め立てが主流ですが、生ごみの量が増大し社会問題になっています。国内には世界１位となる約 1162 基（平成 26 年度末現在）のごみ焼却施設がありますが、水分の含水量が多く燃えにくい生ごみの焼却は自治体にとって大きな問題となっているほか、焼却時に発生する膨大なCO_2排出や世界１位のダイオキシンの発生が懸念されています。

家庭や事業所から出されたごみは処分場で焼却され、管理型処分場に埋め立てられていますが、平成24年度末の一般廃棄物最終処分場は1754施設で、残余容量は数年でいっぱいになる見通しです。新たに施設を整備しようにもいくつかの問題点があるため、早急な対策が必要となっています。

「なぜ？」自然の生ごみはなくなるのか？

思い浮かべてください。森の落ち葉や果実、昆虫や動物の死骸が次第になくなるのはなぜでしょう。それは自然界の微生物が「食べて分解してくれるから」なのです。

自然界に生息する微生物の力を借りて生ごみを発酵させ、有機物を水蒸気と炭酸ガスに分解することで有機性産廃物が環境に害を及ぼすことなく安全に分解処理します。

「微生物の力で」ゴミを分解処理

ＡＬ菌のＡＬはAlmighty Lively の略で、万能で活発な菌のことです。ＡＬ菌は南国の土壌に存在する多くの好気性微生物を集めたものです。

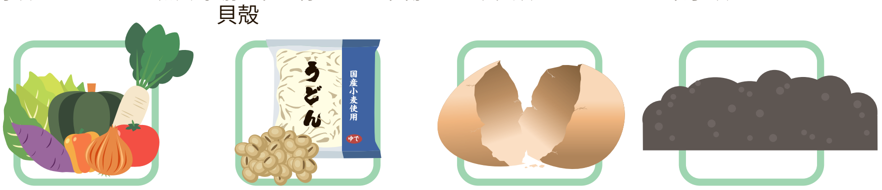
培養段階でクラシック音楽を流し、心地良いリラックスした環境の下で微生物の発酵が活性化され、より万能で活発なＡＬ菌となります。

また、タンパク質や脂肪の多い生ごみなどを分解する際には、プリマハム㈱基礎研究所で開発された耐塩性・耐酸性に優れた生ごみ処理用微生物ＦＮとＡＬ菌を混合して用いることにより、あらゆる有機性残渣物に対応できるようにしています。生ごみを消滅機内で菌（微生物）とゆっくり撹拌することで、効果的に酸素を供給でき、消滅機内のＡＬ菌の増殖→活性化→有機物分解を加速させます。燃やさないのでダイオキシンの発生もなく、またCO_2削減にも寄与します。

「投入」できるもの・できないもの

分解できるもの

肉類　魚・鶏・豚・牛の骨 貝殻　果物の芯・皮・殻　お菓子類　魚類



野菜類　穀物・麺類　卵の殻　汚泥

分解できないもの

人間が食べられないもの　金属・プラスチック類　木片類・割り箸　陶磁器類 ガラス　枯れ葉　缶・ビン ペットボトル

「メリット」

- **ごみ投入運転開始の簡単操作**……▶発酵分解が終了したら、次のごみ投入が可能
- **燃やさないから燃料経費がかかりません**▶ダイオキシン・CO_2が発生しません
- **メンテナンスが簡単**……………▶導入時の菌床は原則1年間補充の必要がありません
- **設置場所を選びません**……………▶排水溝や水道蛇口が必要なく、電源とスペースがあればどこにでも設置が可能です
- **水を使えない場所でもOK**………▶水を使わないので、船舶・離島・山小屋などの上下水道・浄化槽がない場所でも使用可能です

「運ばず・燃やさず・埋め立てずその場で処理」

■収集・搬送コスト
回収の際の燃料消費・回収時間・処分場が必要ありません

■焼却施設からのCO_2の排出
燃料経費削減・地球環境改善

■埋立地の残余
既存の処分場の残余年数は2、3年といわれており、早急な対策が必要です

「作業工程」

生ごみ投入直後

投入後８時間経過

魚ヒレ投入直後

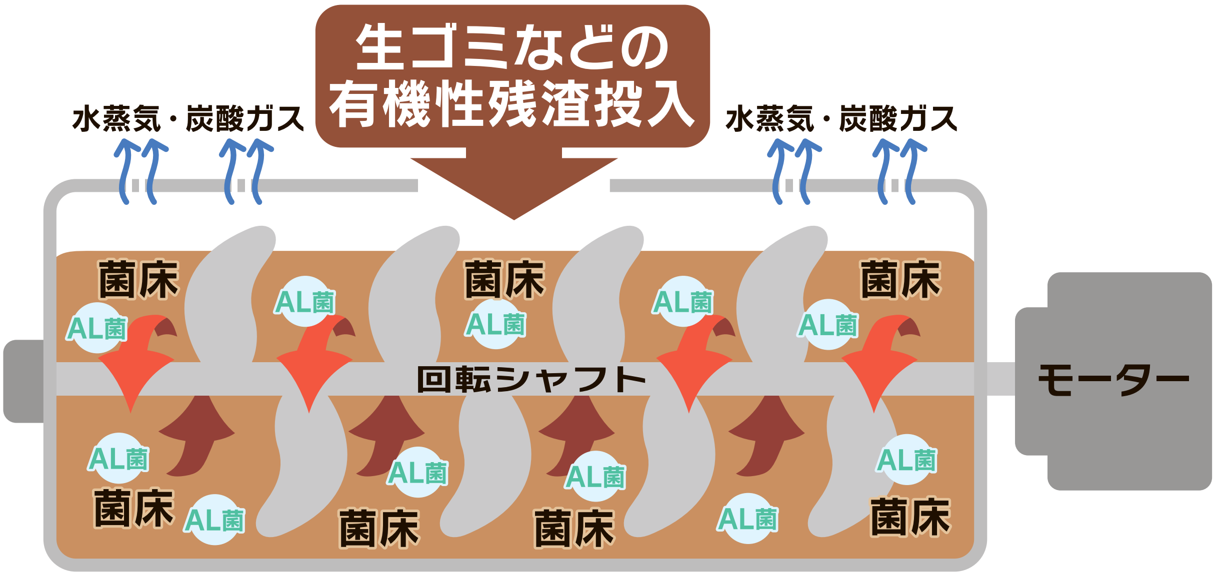
魚ヒレ投入後６時間経過

汚泥投入直後

汚泥投入後６時間経過

「消滅行程」

生ゴミを撹拌機に投入 ≫ 消滅機内で撹拌 ≫ ＡＬ菌による分解処理 ≫ 分解処理完了



イメージ図

「消滅機ラインナップ」

1000 kg

500 kg

200 kg

100 kg

1．排泄物も紙も匂いも残らない次世代型エコトイレ

- 独自の菌（ＡＬ菌）を使用して、排泄物を水蒸気と二酸化炭素に分解します。
- 排泄物は１時間程度で消えて、トイレットペーパーも残りません。
- 汲み取り作業や排泄物の残臭に困ることもありません。
- 昨今、女性の社会進出が建設業界にも進んでいます。
- 女性が快適に働きやすい職場環境づくりの一環として、国土交通省は「女性専用トイレの設置」を義務付けました。
- まだまだ建設現場のトイレは「臭い・汚い」印象があります。
- 当社はＡＬ菌を使用し、糞尿やトイレットペーパーの消滅、悪臭の削減に成功したエコトイレの普及に努めます。

2．バイオトイレ

- 仮設型トイレ
- 介護型トイレ(介護型トイレのみトイレットペーパーはＮＧです)
- 簡易型高級トイレ

3. Q＆A

Q：排泄物などは取り出さないの？

A：**ＡＬ菌が糞尿・トイレットペーパーを分解消滅します。**

Q：ＡＬ菌が分解した後はどうなるの？

A：**水蒸気と二酸化炭素に分解されます。**

QQ：ＡＬ菌は永久に分解してくれるの？

A：**週に１回程度ＡＬ菌の補充が必要です。**

Q：汲み取りをする必要はないの？

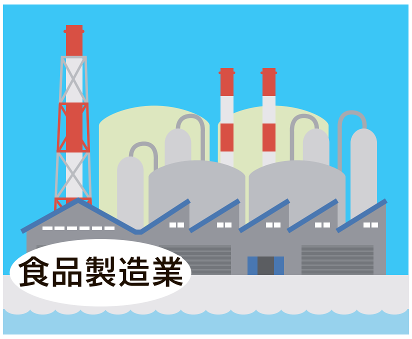
A：**ＡＬ菌が分解処理しますので、汲み取り作業や運搬の必要がありません。**

Q：悪臭はしないの？

A：**ＡＬ菌が悪臭を 90%以上抑えます。**

Q：他にどんな所で使えるの？

A：**食品製造業・水産加工業・ホテル旅館業・畜産業などに最適です。**



このロゴマークは分解処理によってゴミを循環
させ、地球環境に配慮しながら、人と人との輪を
大切にし、自然を守っていくことを表しています。

バイオリユース株式会社
〒891-0150 鹿児島県鹿児島市坂之上四丁目２番８号　TEL 099-296-8430